

2022年2月14日

各位

会社名 佐世保重工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 名村 建介  
問合せ先 総務部長 廣津 忠  
(Tel 0956-25-9111)

「2022年3月期第3四半期連結決算」に関するお知らせ

当社グループの2022年3月期第3四半期連結決算について下記のとおりお知らせします。

記

1. 当第3四半期連結決算の状況（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 損益状況

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2022年3月期 第3四半期	14,883	696	845	97
2021年3月期 第3四半期	22,674	▲2,402	▲2,569	▲10,408

(2) 売上高のセグメント別内訳

(単位：百万円)

	新造船	艦艇修繕船	機械	その他	合計
2022年3月期 第3四半期	7,368	5,458	1,659	396	14,883
2021年3月期 第3四半期	16,279	3,786	2,140	467	22,674

(注) 百万円未満を切り捨てて表示している。

2. 当社事業再構築の進捗状況および当第3四半期の業績について

(1) 事業再構築の進捗状況

当社は現在2021年2月公表の事業再構築計画に基づき、新造船事業の休止と艦艇修繕船事業及び機械事業への経営資源の集中などの抜本的な事業再構築を推進しております。

新造船事業は本年1月に最終船を無事引渡し事業を休止しましたほか、今後、当社の主力事業を担う艦艇修繕船事業については、新造船事業部門からの配置転換や新造船建造用ドックの修繕事業用ドックへの改修に着手するなど、事業再構築の実現に向け鋭意取り組んでおります。また親会社である株式会社名村造船所の営業支援を受けて、今後需要が見込めるLNG運搬船の修理工事を受注・施工しましたほか、国内艦艇の定期検査工事や保安庁船の修理工事などにも積極的に取り組んでおります。

(2) 当第3四半期の業績等

当第3四半期連結累計期間の売上高は、艦艇修繕船事業において国内艦艇の定期検査工場の売上が増加したものの、新造船事業の休止に伴う操業度の低下や機械事業の主力製品である船用クランク軸の売上減少により14,883百万円(前年同期22,674百万円)となりました。

損益面では、為替が円安に推移したことで新造船事業において工事損失引当金の戻し入れにより採算が改善したことに加えて、国内艦艇の定期検査工場やLNG運搬船の修繕工場の施工などによる艦艇修繕船事業の利益計上により、連結営業利益は696百万円(前年同期は2,402百万円の営業損失)、連結経常利益は845百万円(前年同期は2,569百万円の経常損失)となり大幅に改善しました。

なお、親会社株主に帰属する当期純利益は、早期退職関連費用を特別損失として計上しました結果、97百万円(前年同期は10,408百万円の純損失)となりました。

以上のとおり、当社の事業再構築計画は順調に進捗し業績も回復に向かって推移しております。引き続き事業再構築を着実に遂行し、通期業績の黒字化および安定収益体制の構築に取り組んでまいります。

以上

**【問い合わせ先】**

佐世保重工業株式会社  
総務部長 廣津 忠  
(0956-25-9111)